

安全データシート

作成日 2016年1月13日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ウルタイト1620 硬化剤
会社名	東邦化成工業株式会社
担当部門	技術部
住所	〒171-0033 東京都豊島区高田2-1-12
電話番号	03-3988-3366
FAX番号	03-3985-6975

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2 区分1
-----------	------------------------------	------------

* 記載が無い危険有害性は、区分外、分類対象外、又は分類できないである。

ラベル要素 絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激。
 重篤な眼の損傷。
 飲み込むと有毒。
 水生生物に有害。
 長期的影響により水生生物に有害。

注意書き
[安全対策]

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 環境への放出を避けること。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

[応急処置]

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分の悪い時は医師の診断、手当てを受けること。

皮膚(又は毛髪)に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。
 直ちに汚染された保護衣を脱ぐこと。
 保護衣を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合

水で数分間、注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。

飲み込んだ場合

直ちに医師の診断、手当を受けること、無理に吐かせないこと。

[保管]

容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物
 処理業者に業務委託すること。

3. 組成・成分情報

単一物質、混合物の区別

混合物

成分	含有量(%)	化審法	CAS No.
ポリアミドアミン	77.0~90.0	記載あり	記載あり
シリカ及び炭酸カルシウムの複合物	15.0~25.0	(1)-548 (1)-122	7631-86-9 471-34-1

4. 応急処置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合	水で数分間、注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。 眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、炭酸ガス、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤	棒状水
消火を行う者の保護 (保護具等)	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和	乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、覆って密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱及び保管上の注意

[取扱] 技術的な対策 (取扱者のばく露防止、火災爆発の防止など)	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 静電気放電に対する予防措置を講ずる。 眼や皮膚への接触を避けること。 飲み込まないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 環境への放出を避けること。
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。
[保管] 保管条件	酸、酸化剤から離して保管すること。 冷所、換気の良い場所で保管すること。 吸湿性があるため、容器を乾燥した状態に保つこと。
混触危険物質	「10. 安定性及び反応性」を参照。
容器包装材料	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) 日本産業衛生学会	設定されていない
ACGIH	設定されていない
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。



[保護具] 呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型・側板付き普通眼鏡型・ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	適切な顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	淡黄色液体
臭い	アミン臭
融点・凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	115°C(クリーブランド開放式)
自然発火温度	データなし
蒸気圧	データなし
比重(密度)	1.01(25°C)
溶解度	アルコール系溶剤に可溶。

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の手扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	酸と反応して強い発熱反応を起こす。

11. 有害性情報

急性毒性

単回摂取後、高毒性。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。蒸気／空気の高濃度または高飽和混合気体を吸入しても、急性毒性を示す可能性は低い。

経口 ラット:LD₅₀ = 50～200 mg/kg (OECDテストガイドライン 423)

経皮 ラット:LD₅₀ = >2000 mg/kg (OECDテストガイドライン

吸入 ラット:8h (IRT (inhalation risk test: 吸入暴露試験)動物実験において、暴露時間内には死亡はみられなかった。

皮膚腐食性・刺激性

in vitro試験では、皮膚を腐食する可能性を示唆しなかったが、眼に重篤な障害をもたらす可能性がin vitro試験で示されている。

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:細菌類に対して変異原性を示さなかった。

12. 環境影響情報

急性毒性

甲殻類 オオミジンコ EC₅₀ 13mg/L(48hr)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA、ICAO、IMDG分類

国連番号:1760
品名:国連輸送 ポリエーテルアミン(液体、腐食性のもの)
国連分類:クラス8
容器等級:Ⅲ
海洋汚染物質:非該当

国内規制

陸上規制情報:消防法の規定に従う。
海上規制情報:船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報:航空法の規定に従う。
国連番号:1760
品名:国連輸送 ポリエーテルアミン(液体、腐食性のもの)
国連分類:クラス8
容器等級:Ⅲ

特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

消防法

危険物 第4類引火性液体 第3石油類

16. その他の情報

注意

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保障するものではありませんので、取扱いには十分な注意をお願いします。